

# し 知っていますか「バリアフリー」

みなさんは、<sup>がっこうせいかつ</sup>学校生活や<sup>なか</sup>まちの中で、<sup>くるま</sup>車いすやベビーカー、<sup>かいだん</sup>階段などの「<sup>ふべん</sup>不便」に<sup>き</sup>気づいたことはありませんか？ それらの「<sup>ぶつりてき</sup>物理的な<sup>かべ</sup>バリア（壁）」をなくして、<sup>としよ</sup>お年寄りや<sup>しょうがい</sup>障害のある<sup>ひと</sup>人はもちろん、すべての<sup>ひと</sup>の人が<sup>あんぜん</sup>安全で<sup>たの</sup>楽しく暮らせるようにするのがバリアフリーです。

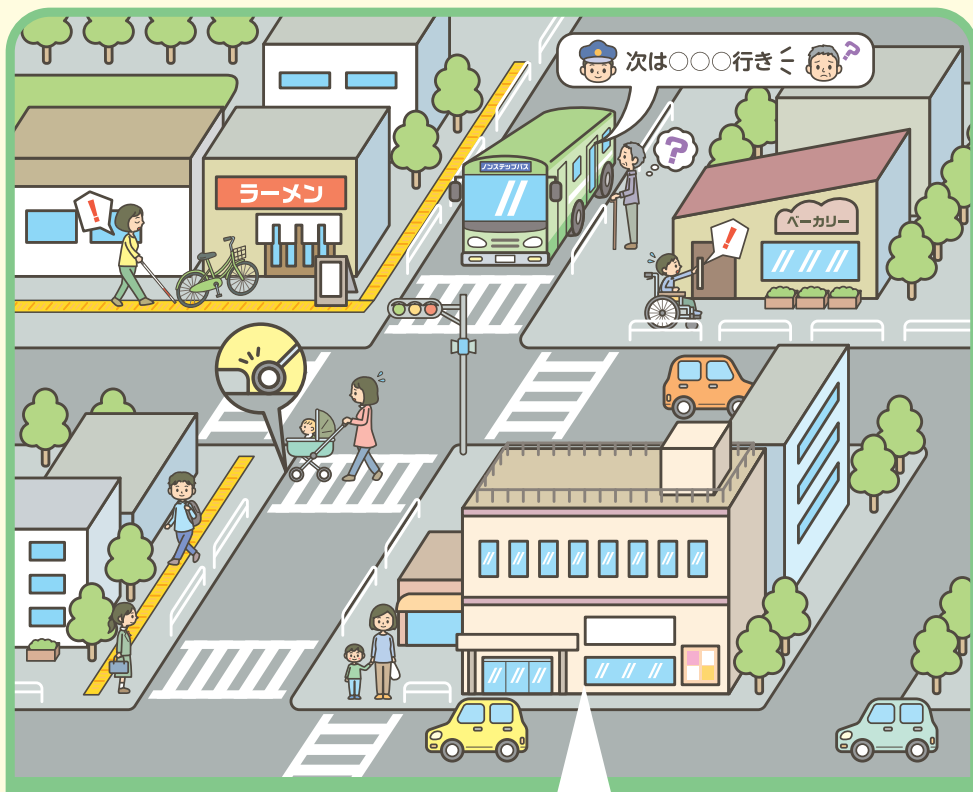
これは、「<sup>こま</sup>困っている<sup>ひと</sup>人への<sup>さべつ</sup>差別や<sup>へんけん</sup>偏見」といった「<sup>しんりてき</sup>心理的な<sup>こころ</sup>バリア（心の<sup>かべ</sup>壁）」も取りはらい、「<sup>みんな</sup>みんなが<sup>かた</sup>がって、<sup>いい</sup>みんないい」という<sup>かんが</sup>考え方のもと、<sup>じぶん</sup>だれもが<sup>かがや</sup>自分らしく<sup>しゃかい</sup>輝ける<sup>たいせつ</sup>社会をつくるための<sup>とりくみ</sup>大切な取組です。

まちでよく見る「<sup>み</sup>点字<sup>てんじ</sup>ブロック」や「<sup>ほじょけん</sup>補助犬」、<sup>しゅわ</sup>「手話」の中には、<sup>なか</sup>意外と<sup>いがい</sup>知られていない、<sup>たいせつ</sup>大切な<sup>やくわり</sup>役割や<sup>い</sup>意味が<sup>かく</sup>隠れています。この<sup>まな</sup>学びを通して、それらの<sup>い</sup>意味を<sup>ただ</sup>正しく<sup>し</sup>知るとともに、<sup>てんじ</sup>点字や<sup>しゅわ</sup>手話を<sup>おぼ</sup>覚えて、<sup>まわ</sup>周りの<sup>ひと</sup>人を<sup>たす</sup>助けるボランティアにもチャレンジしてみましょう！

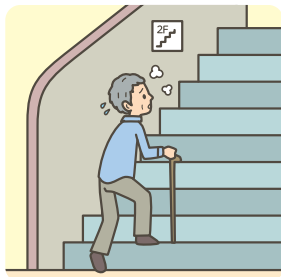


# バリアフリーのまちをめざして

まちの中の不便なところはどこか考えてみましょう。



## 建物の中



答えは次のページにあります。

# かく どんなことが隠れていましたか

## バスのアナウンスが聞こえにくい

のりもので電光掲示板や音声案内があると、目や  
 耳が不自由でも様々な情報を得やすくなります。



## 点状ブロック上に自転車が置かれている

歩道に障害物がないとスムーズに動けます。

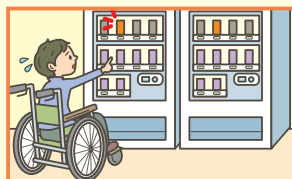
## ドアノブに手が届かない (車いす)

自動ドアや引き戸だと利用しやすいです。



## 段差に引っかかる (ベビーカー)

段差が低いとスムーズに動けます。



## 自販機のボタン (車いす)

ボタンが低いところにあると、車いすに乗った人  
 や子どももボタンが押しやすいです。



## トイレの開き戸 (車いす)

入口に段差がなく、ドアや内部が広く、  
 手すり付きの洋式便座があるトイレは  
 だれもが利用しやすいトイレです。



## 手すりや滑り止めのない階段 (高齢者)

階段には手すりや滑り止めがあると安全です。

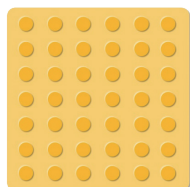
せんじょう てんじょう

## 線状（点状）ブロック

線状（点状）ブロックは、目の不自由な人が道路やろう下などを安全に安心して歩けるように誘導したり、注意をうながしたりするために設けるブロックです。色は、弱視の人にもわかるように周囲の色との違いがわかりやすい色になっています。



線状のブロックは、歩行方向を案内しています。



点状のブロックは、方向転換や注意が必要な位置などを案内しています。

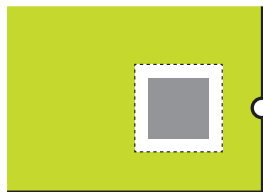


こんなことをしていませんか。  
目の不自由な人がケガをしてしまいます。  
線状（点状）ブロックの上には、ものを置かないようにしましょう。

おんせい

## 音声コード

この四角形の模様のことを「音声コード」といいます。1辺が約2cmの四角形の中に約800文字の情報が記録されています。



音声コードを印刷物の所定の位置に貼付し、読み上げ装置やスマートフォンアプリで読み込むことで記録された文字情報を音声で聞くことができます。

印刷物に音声コードを貼付したときには、目が不自由な人が触って認識できるよう音声コードの側に半円形の「切り欠き」を施すことが大切です。

ほじょけん  
補助犬とは、め みみ てあし ふじゆう ひと てだす もうどうけん ちょうどうけん かいじょけん  
のこたです。

# <種類>

- **盲導犬**…もうどうけん かいだん  
階段があることなどを、め ふじゆう ひと し あんぜん ある  
うに手助けする犬のこたです。
- **聴導犬**…ちょうどうけん でんわ おと き  
電話やインターホンなどの音を聞きつけて、めみ ふじゆう ひと し  
せる犬のこたです。
- **介助犬**…かいじょけん お ひろ  
落としたものを拾うなど、てあし ふじゆう ひと にちじょうせいかつ てだす  
る犬のこたです。

ほじょけん くんれん  
補助犬は訓練され、しつけられていますので、ほえたり、かみついたりする  
ことはありませぬ。また、排せつにおいてもしつけられていますので、利用す  
る施設を汚すことはありませぬ。

ほじょけん どうわ どうぎ しごと  
補助犬が胴輪（ハーネス）や胴着をしているときは、仕事をしているときです。  
こえ  
声をかけたり、なでたり、食べ物であたえたりしないでください。



ほじょけん どうわ  
補助犬は、胴輪（ハーネス）や  
胴着をしています。



ほじょけん  
補助犬は、しつけられています。

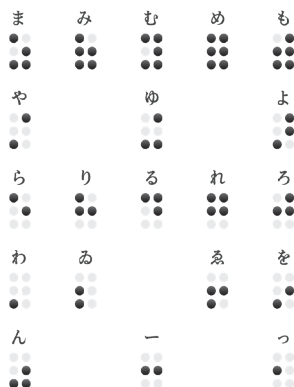
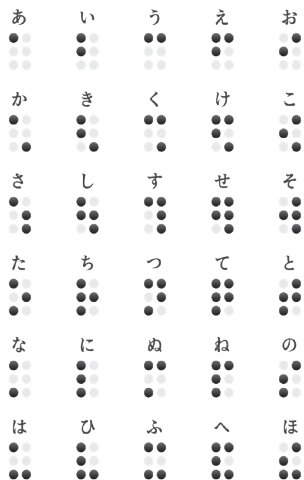
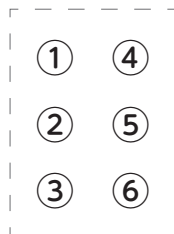


しごとちゆう ほじょけん た もの  
仕事中の補助犬に食べ物であたえてはいけません。

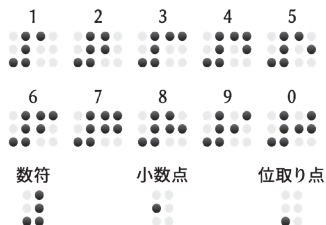
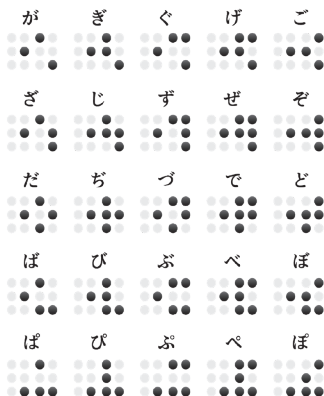
点字とは、目の不自由な人が、読んだり書いたりするための文字です。

点字はたて3点・よこ2列、6つの点の組み合わせでできており、この単位を「マス」と言います。

6つの点は左上を①の点、左の真ん中を②の点、左下を③の点、右上を④の点、右の真ん中を⑤の点、右下を⑥の点とよんでいます。

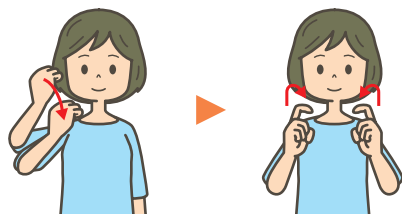


濁音や半濁音、数字などは、2マスをつかって表します。

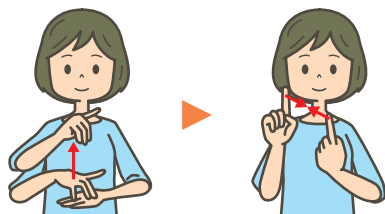


手話は、「手・からだ・顔の表情」で表す、目で見てわかることです。  
耳が聞こえにくい人や声を出して話すことが難しい人にとって、大切なコミュニケーション方法の一つであり、日本語と同じ「言語」なのです。  
ただ手を動かすだけではなく、声の調子を変えるのと同じように、顔の表情やしぐさを上手にを使って、気持ちを表現することがポイントです。

## ●おはよう

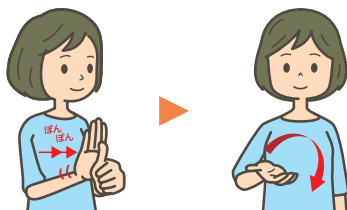


「朝」+「あいさつ」で表します。  
「朝」握りこぶしをまくらのようにして頭をかたむけ、頭を起こすと同時に握りこぶしを下げます。  
「あいさつ」両手の人さし指の腹を向かい合うように立て、お互いがおじぎをするように曲げます。



## ●はじめまして

「初めて」+「会う」で表します。  
「初めて」手の甲にもう一方の手のひらを重ね、上げながら、人さし指以外と親指の先をくっつけます。  
「会う」人さし指を立てて指の腹を向かい合わせ、同時に近づけます。



## ●お手伝いしましょうか？

「助ける」+「しますか？」で表します。  
「助ける」片手の親指を立てて前に向け、その親指の背面をもう一方の手のひらで軽く前に押し出すように2回たたきます。  
「しますか？」片方の手のひらを上に向けて、弧を描くように出します。

## バリアフリースイ

バリアフリースイとは、車いす使用者、乳幼児連れ、発達障害などで同伴が必要な人、オストメイト、義足や人工関節の人などの使用に配慮したトイレの総称です。

### ●車いす使用者

- ・車いすを回転できる広いスペースが必要
- ・便器に座するために手すりを使う



### ●発達障害など同伴が必要な人

- ・異性が同伴で入れるトイレが必要



### ●乳幼児連れの人

- ・ベビーカーで入るために広いスペースが必要
- ・おむつ替えをするために着替え台やおむつ交換台を使う



### ●オストメイト

- ・パウチ（便をためておく装置）から排せつするためにおがつなごう汚物流しを使う



一般のトイレを利用できる人がバリアフリースイを使用すると、本当に必要な人が利用できず困ってしまいます。

- ・男女兼用のバリアフリースイしか使えない人もいます。
- ・外見からは特徴が分かりにくい人にとってもバリアフリースイは大切な場所です。

見た目だけで判断せず、さまざまな個性を持つ人がこのトイレを必要としていることを理解しておきましょう。

## 車いすマークの駐車場



国際シンボルマーク

（車いすマーク）

※ 13 ページにマークの説明があります。

車いすマーク駐車場（障害者等用駐車区画）は、一般の駐車場より幅が広く、建物の入口の近くにあり、車に乗りおるためにドアを大きく開けることができ、車と建物との距離が短くなっているため、車いすを使用している人や体の不自由な人などが便利に使うことができます。

「だれもとめていないから」と車いすマークの駐車場に車をためている人を見かけませんか？でも、その場所を必要としている人がいます。



## パーキング・パーミット制度

パーキング・パーミット制度は、車いすマークの駐車場を必要としている人が安心して使えるように導入された制度です。

この制度は全国的に導入されており、宮城県では「ゆずりあい駐車場利用制度」として、平成30年から導入しています。



利用証のイメージ

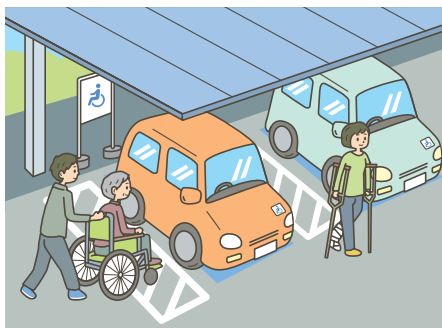
### 利用できる人は・・・

車いすを使用している人、体の不自由な人、妊娠中の人など、歩くことが大変な人が宮城県に申し込むことで、利用証を受け取ることができます。

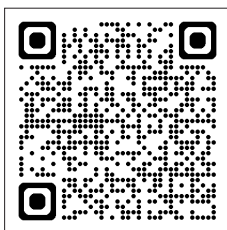
### 使うときは・・・

この制度に協力している施設の駐車場の中には、制度の対象区画であることを示すマークがあり、この区画を利用する場合は利用証を車内に掲示します。そうすることで、外見からは分かりにくい障害のある人でも、この区画を必要としていることをまわりに知らせることができます。

みんなでゆずりあって、気持ちよく利用できるように心がけましょう。



対象者などの詳細はこれから  
宮城県社会福祉課ホームページ





### こくさい 国際シンボルマーク

しょうがい すべ ひとびと りよう けんちくぶつ しせつ  
障害のある全ての人々が利用しやすい建築物・施設であることを  
しめ せかいきょうつう  
示す世界共通のシンボルマークです。  
くるま しょうしゃ しょうがい ひと こじん しめ  
車いす使用者や障害のある人などの個人を示すマークではありません。



### しんたいしょうがいしゃひようしき 身体障害者標識

てあし ふじゆう ひと うんてん じどうしゃ  
手足の不自由な人が運転している自動車につけるマークです。  
このマークをつけた自動車に無理な幅寄せや追いこしをすると  
こうつういはん  
交通違反になります。



### ちょうかくしょうがいしゃひようしき 聴覚障害者標識

みみ ふじゆう ひと うんてん じどうしゃ  
耳の不自由な人が運転している自動車につけるマークです。  
このマークをつけた自動車に無理な幅寄せや追いこしをすると  
こうつういはん  
交通違反になります。



### けん ほじょ犬マーク

しんたいしょうがいしゃほじょけんほう けいはつ  
身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。  
ほじょけん こうきょう しせつ こうつうきかん みんかんしせつ  
補助犬は、公共の施設や交通機関のほか、民間施設（スーパーやレストラ  
ンなど）にも使用者 いっしょ はい  
と一緒に入ることができます。  
ほじょけん どうはん しょうしゃ えんじょ ひつよう しょうしゃ  
補助犬を同伴していても使用者への援助が必要な場合があります。使用者  
が困っている様子を見かけたら、積極的にのお声がけをお願いします。



### みみ 耳マーク

みみ ふじゆう ひと あらわ どうじ き  
耳の不自由な人であることを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい  
ひと はいりょ あらわ  
人への配慮を表すマークです。  
このマークを提示されたときは、相手が「聞こえない・聞こえにくい」こ  
とを理解し、くちもと み  
とを見せゆっくり、はっきり話す・筆談で対応する・手話  
や身振りで表すなど、コミュニケーションの方法を工夫してみましょう。



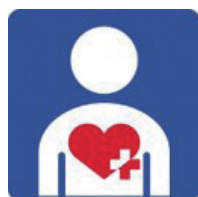
### ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方々が、そのことを周囲の方に知らせるマークです。



### オストメイト用設備／オストメイト

人工肛門・人工膀胱を使用している方（オストメイト）であること及びオストメイトのための設備（オストメイト対応のトイレなど）があることを表しています。



### ハート・プラスマーク

心臓やじん臓などの内臓に障害のある人を表現しているマークです。

外見からは分かりにくい身体内部の障害のある人への理解を深めるために、このマークの普及が進められています。



### 「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク

目の不自由な人が白杖を頭上50cm程度に掲げてサポートを求める「白杖SOSシグナル」のシンボルマークです。

#### <白杖SOSシグナルを見かけたら>

#### ①まずは声をかけましょう

目の不自由な方がSOSシグナルを発していたら、すすんで声をかけましょう。

#### ②困っていることを聞きましょう

何に困っているのか、どのようなサポートが必要かを聞きましょう。

#### ③近くの大人にも声をかけて、サポートしましょう

困っていることや支援してほしいことを聞いたら、みんなでサポートしましょう！

## ユニバーサルデザインを探してみよう

バリアフリーとは、「物理的なバリア」や「心のバリア」などいろいろなバリアを取り除いて、だれもが住みやすい生活環境をつくることですが、すべての人のためのデザインという意味のユニバーサルデザインという言葉も使われています。

バリアフリーとユニバーサルデザインの違いは、たとえば、バリアフリーは階段のわきにスロープを付けて、高齢の人や障害のある人でも、使いやすいようにしたのですが、ユニバーサルデザインは始めから階段や段差を作らないで、平らな地面のままで、だれでも利用しやすいようにするものです。

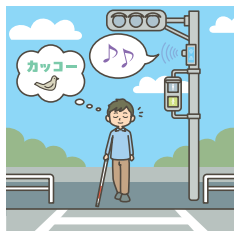
どちらも、だれもが住みよいまちや、使いやすいものを目指しています。みなさんの周りにも、ユニバーサルデザインを取り入れたものがたくさんありますから、いろいろ探してみましょう。

### たとえば・・・



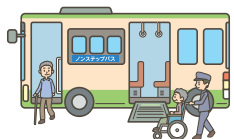
#### シャンプー・リンスのボトル

め目をつぶっているときでも、シャンプーとリンスの違いがわかるようにするため、シャンプーのボトルにはギザギザの突起がついています。



#### 信号機

音楽が流れる「メロディ式」や鳥の鳴き声が流れる「擬音式」の音響信号機により、目の不自由な人が安心して移動することができます。擬音式では、「カッコー」と「ぴよぴよ」を使い分けることで、通りの方角を分かりやすくしている例もあります。



#### ノンステップバス

出入口の段差をなくし、お年寄りや小さな子どもでも楽に乗り降りができるのが特徴です。

また、床が低いいため、スロープを設置することで、車いすを使用している方でもスムーズに乗り降りすることができます。